

# TCFD/TNFD対応の“最前線”

SDGsに代表される社会課題の顕在化が一層進む中、とりわけ、気候変動対策は急務となりました。2022年4月に再編された株式市場において、プライム上場企業に対してはTCFD対応がほぼ義務化されたことにより、2023年はTCFD初期対応の開示が急増しました。また、2023年9月には、TNFDのフレームワークが公表され、企業におけるTNFD対応が始まる様相となりました。

かかる状況下、TCFDは初期開示を終え、脱炭素化に向けた移行計画を検討するフェーズとなり、他方、TNFDは初期開示を目指す企業が増えるのが2024年になります。本セミナーでは、TCFD/TNFD対応を最前線で対応しているゲストをお呼びし、討議を行います。

## プログラム概要

### TCFDパート | 15:00-16:00

- 1. TCFD対応/開示状況レク**  
対応事例などを基に、現在の開示水準などを解説します
- 2. パネルディスカッション  
「移行計画策定と対応」**  
TCFD移行計画づくりのポイントや脱炭素手法についてゲスト共に討議します

## 登壇者



エプソン販売  
グリーンモデル推進部部長  
子田 吉之



日本航空 ESG推進部  
企画グループ・グループ長  
亀山 和哉

### TNFDパート | 16:00-17:00

- 1. TNFD概要と初期対応レク**  
9月に公表されたフレームワークと初期対応について解説します
- 2. パネルディスカッション  
「TNFDの重要性と対応」**  
生物多様性が損なわれると我々人類にどのような影響が起こるのか、TNFD対応はどのようにすればよいかをゲストと共に討議します



バイオーム  
代表取締役CEO  
藤木 庄五郎



積水化学  
社長室上席部長  
仲 義輝



日本総研  
マネジャー  
猪尾 祥一

2024年  
2月16日 (金)  
15:00-17:00

## モデレータ



日本総合研究所  
上席主任研究員/シニアマネジャー  
大森 充

会場 QUESTION (クエスチョン) ※zoom視聴のみあり  
京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町390-2

主催 株式会社日本総合研究所

※来場者は先着70名まで、zoom視聴は先着100名までとなります

参加無料

